

令和3年度第2回守山市健康づくり推進協議会（書面開催）における委員からのご意見

1 令和3年度取組実績と令和4年度の取組予定について

①働き世代、健康無関心層に向けたアプローチ（令和3年度）

No.	ご意見内容・検討事項	考え方・取組状況
1	<p>・野菜摂取量測定イベント 売り場との連携をしているのか。 野菜のその日の値段を表示して、売り場に誘導するのはどうか。 狙いはとてもよいので、子供を誘導する仕組みづくりをしてはどうか（ガチャガチャを置くなど）</p> <p>・BIWA-TEKU 健康のイベントだけとの連携でなくてもよい。ほかの施設とどのように連携をするか。</p>	<p>・健康無関心層について 30歳代から40歳代の健康に関心が薄い年齢層を想定しています。令和2年度に実施をしたすこやかまちづくり行動戦略の最終評価時アンケート等で、30歳代から40歳代の市民の健康に対する関心が低いことが分かり、令和3年度からはこれらの層にターゲットを絞ったアプローチに取り組んでまいりました。</p> <p>・推定野菜摂取量測定イベントについて 令和3年度のイベントでは、イベントと売り場の連携は行っていなかったため、令和4年度は売り場との双方向の連携ができるよう、事業者と協議を行ってまいります。</p>
2	<p>ショッピングセンターでの啓発の時にビワテクの説明もしておられると思うが、ここで実際にアプリを取ってもらうよう勧めたり、取り方が分からなければ、手伝ってあげる。また、その場でアプリを取ってもらうと何か特典をつけるのはいかがか。</p>	<p>イベント実施時には、参加賞として野菜型消しゴムをプレゼントしていました。お子様には特に好評で、参加賞を目当てにご家族で野菜摂取量を測定された方々も多くおられました。令和4年度も家族で参加してもらえよう仕組みは工夫してまいります。</p>
3	<p>健康無関心層はどのあたりを想定しているのか。</p>	<p>令和3年度はイベントについては好評で、また、地域包括支援センター等と連携した回もあり、多くの方に参加いただけたことから、令和4年度も継続して実施する予定をしています。</p>
4	<p>・休日のショッピングセンターでの健康啓発に一定の効果が出ているものの、今後はICT、SNSを工夫していくべき。</p> <p>・ビワテクは効果があると思う。参加方法をもっと分かりやすく簡単にしてほしい。</p> <p>・幅広い年齢層に参加してもらえよう自治会で推奨できるようにお願いしたい。</p>	<p>・BIWA-TEKU（ビワテク）について BIWA-TEKUは令和4年1月から守山市でも運用開始し、令和4年3月17日現在アプリ利用者は全体で35,349名、守山市で1,251名が参加されています。</p>
5	<p>・季節ごとの旬の野菜やおいしい調理方法などの案内を通じて、バランスの良い食事・野菜摂取量の増加につながる健康啓発を実施してはいかがか。</p> <p>・令和3年度実施した野菜摂取量測定・栄養指導に加え、血管年齢測定および生活習慣など包括的な健康相談イベントを実施してはいかがか。</p>	<p>守山市内での広報として、自治会へのチラシ回覧、市内セブンイレブンや市内公共施設へのチラシ設置等様々な啓発を実施しました。また、アプリダウンロード説明については、特定保健指導実施者に対し個別に実施してきました。</p>
6	<p>・市内の企業へ啓発チラシの送付や企業内に設置されている労働安全衛生委員会などに事業を伝えるのはいかがか。</p> <p>・各自治会などに案内チラシを回覧してもらってはいかがか。</p>	<p>今後も広報を継続して実施していくとともに、令和4年度はスポーツ振興課をはじめとした、庁内関係各課と連携した取組を展開していきたいと考えております。</p> <p>またご意見いただきました、推定野菜摂取量測定イベントとの連携も実施してまいります。</p>
7	<p>健康増進アプリは、知らない人が多いと思います。粘り強く周知を続ける必要があると思います。</p>	<p>令和4年度からは、自治会応援報償の健康メニューの1つとして「BIWA-TEKUの啓発」を追加します。自治会の中で健康事業として活用いただきたいと思います。</p>
8	<p>特に、健康増進すべき対象者は働き盛り層や健康無関心層が中心となるが、そのアプローチ方法としては、ICTやSNSの活用は欠かせない。しかしながら、これまで長年にわたり地域社会経済を支えてこられた高齢者の方々の何%がICTやSNSを活用されているのか定かではありませんので、広報紙面（健康増進特集号）を増やすなどして、まだまだ永久保存可能な紙媒体は捨てきれないものと思います。</p> <p>（※①～③通しての意見）</p>	

1 令和3年度取組実績と令和4年度の取組予定について

②ICTを活用した健康づくりの推進（令和3年度）

No.	ご意見内容・検討事項	考え方・取組状況
1	<p>・特定保健指導 オンラインの強みは、「いつでも、どこでも」であるので、時間外・夜間を外注するのはどうか。</p> <p>・YouTube 1 見てもらう仕組みづくりが大事。面白いものを1本作り、他の動画も見てもらうように誘導する方法を考える必要がある。 時事ネタを含んだ短いもの。 「血圧結果から何が解る？」とか具体的なことの方がよくみられると思う。</p>	<p>・特定保健指導について 今年度初めてWEBでの保健指導を実施し、指導を受けた方々からは好評をいただいております、指導の成果も出ていることから、令和4年度も継続して実施をしております。</p> <p>また、保健指導は直営で実施していますが、今後は、時間外・夜間の充実を含めた業者委託を検討しております。</p> <p>・YouTubeについて 課題となっている再生数は、今後作成する動画については、具体的な内容を盛り込むことや興味をひく内容を題材にするなど、見てもらえる内容になるよう工夫をし再生数を増やしたいと考えています。</p>
2	<p>2 視聴数が少ないのは仕方ない？が、対面を補うまたは、別物として捉えて進化させていきましょう。</p>	<p>また、対面での健康教育等実施時にも、YouTubeに動画があることを周知し、復習等で活用いただけるよう対面・動画の両輪で実施しております。</p>
3	<p>3 健康教育・相談、健康講座の配信ともに大変良い取組であり、継続し、さらにステップアップをお願いしたい。</p>	
4	<p>4 コロナ禍の現況では、対面での健康教育・健康相談の開催は難しいため、オンラインの促進は致し方ない。</p>	
5	<p>5 時間の制約や場所移動がなくなり、利用することで健康づくりにはかなり効果があると思うが、利用できない人にはサポーターなどを設置し、活用の手伝いをする仕組みづくりをする必要があるように思う。</p>	
6	<p>6 ICTと従来の対面と併用しながら推進していけばよいと思います。</p>	

1 令和3年度取組実績と令和4年度の取組予定について

③SNSを活用した啓発の推進（令和4年度）

No.	ご意見内容・検討事項	考え方・取組状況
1	<p>動画を繰り返し見てもらうようにする。動画と対面を組み合わせたものとする。</p> <p>お得情報があります！でクリックをしてもらう工夫を。20～30歳代の女性にアピールするのであれば、子育て世帯に訴求するような内容でもよいのでは。</p>	<p>・SNSを活用した啓発について</p> <p>令和4年度にInstagramやYouTubeなどのSNS等で、健(検)診の啓発動画を広報に活用します。今回は、20歳代から40歳代の若い女性をターゲットに、健(検)診の重要性を周知する予定をしています。</p> <p>動画を作成する際には、動画を見て終わりではなく、その後の健診受診につながるような内容となるようにいたします。</p> <p>また、ご意見にありましたとおり、20歳代から40歳代は子育て世代の方も多くおられることから、その世代へのアピールも検討してまいります。</p> <p>本事業の実施、結果等も本協議会で報告いたします。</p>
2	<p>どんなものか想像がつきにくく、現段階ではイメージしにくい。SNSの活用はよいと思う。</p> <p>⇒どういう内容かによる。親世代に訴えて、こどもさんに伝えるとか。</p>	
3	<p>どれほどの効果が出るのか不明ですが、実施してみる⇒しっかり検証をお願いします。</p>	
4	<p>・令和3年度事業を引続き実施する。</p>	
5	<p>スマホ利用していてもSNSを活用していない人も多くいるので、①で実施された啓発事業みたいな企画を②を含めてだれでも活用できるようにする。</p>	
6	<p>Instagramの活用は良いと思います。</p>	

2 次期計画策定・市民アンケート調査について		
No.	ご意見内容・検討事項	考え方・取組状況
1	アンケート内容が7月頃とあるが、国からの方針で、今までになかった方向性が示されたときに対応することが可能か。 国の次期計画作成の骨子が2月末には提示され、その後パブコメが実施され、ほぼほぼその案になるはず。計画は7月より前に確認できる。 国・県の方針が後出して出てくる可能性があるため、その旨記載をしておくのがよい。	<p>・アンケートの実施年齢について 令和4年度実施予定のアンケートは、15歳以上74歳までの市民に対して実施する予定にしています。</p> <p>・アンケートの回答方法について 従来の郵送での方法の他に、WEBでの回答も可能とする予定です。回答方法が選択できることで、回収率向上が見込めると考えております。</p>
2	生涯歯科のアンケートで回答済 ・問24 あなたは定期的に歯のチェックを受けていますか。 1 受けている（〇か月に1回程度） 2 受けていない ・問25 あなたの歯は何本ありますか（つめ物や冠が入っている歯は含みます。入れ歯は除きます。（令和3年度第2回守山市生涯歯科保健推進協議会意見書より）	<p>・前回実施アンケートとの比較について これまで個別に実施していた、健康もりやま21アンケートと守山市食育推進計画のアンケートを統合して実施をします。ただし、各計画で評価項目となっているアンケート項目については、令和4年度のアンケートでも同じ項目をお尋ねします。前回と比較する項目は残し、重複した項目は統合するなどメリハリのあるアンケートとする予定です。</p> <p>・アンケート項目について アンケート項目については、今回いただきました意見を基に、アンケート案を作成し、本協議会の令和4年度第1回目にお諮りさせていただきます。</p> <p>また、アンケート項目は、回答される市民の方々が回答に迷わない、わかりやすい項目にいたします。</p>
3	・アンケート回収率を上げる議論をすることも必要。その点も協議会に挙げてみるのも良いのではないかと。 ・アンケート回収率を上げるひとつの方法として、ビワテクのポイント付与なども考えてみてはいいのではないかと。	<p>・関係団体へのヒアリングについて 令和5年度に、関係団体等に現行計画に関する取組と次期計画にむけての取組などを書面や直接お会いして実施する予定にしています。</p> <p>・アンケート項目数について これまで、健康もりやま21と守山市食育推進計画の最終評価で実施していたアンケートを統合し、守山市自殺対策計画および守山市生涯歯科保健計画も網羅する内容とすることから、設問数が多くなっております。今後、アンケート項目の精査を行い、必要最低限の項目としてまいります。</p>
4	ばらばらにしていたアンケートを統合して実施して、前回との比較ができるのか。 ねらいの実績評価が出来るのか。 アンケートに答えてくれた人にアンケートをどうフィードバックするのか。個別に返却しても良いのではないかと。 市の計画は市民はあまり見ない。自分の生活の範囲の中で関連がある場合には見る可能性があるが、計画策定後の啓発が必要。市民の生活に密着したものである必要がある。	
5	①対象年齢を15～74歳までとすべきかと。 ②コロナ禍での対策、食への思いの変化等についての質問をすべき ③健康もりやま21市民アンケート（H23）問10の「あなたが住んでいる地域」とはどの範囲を指すのか？（自治会単位、学区単位…）。回答する方によって違ってくると思われるが。	
6	・地域ではひとり暮らしで買い物にも行けない人もいます。2,000人はどのように抽出されるものか。アンケートを送付しても回答出来ない人もいないのではないかと。 ・関係団体へのヒアリングはどのようにされるのか。事務局が団体に出向き、詳細を説明して欲しい。	

7	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは紙ベースおよびオンラインの両方を実施する。 ・平成23年度10月の調査では、15歳から69歳の方が対象でしたが、高齢者の健康を考慮して、70歳以上の方も対象にしてはいいかがか。 ・問2「70代以上」を追記してはいいかがか。 	(前ページで回答しています)	
8	<p>WEB回答は出来るのか。(説明会時) 内容については、考慮されており問題ないと思いますが、回答数が少し多すぎると思うので、アンケート結果で必要とする項目に絞り込んだ方が回答する人にもしやすいと思う。</p>		
9	<p>質問数が多いので、精査する必要があると思います。 学校で実施するアンケートもGoogleフォームを活用することが多くなっています。</p>		
10	<p>スケジュール感はどうか。市の計画を市民がどれほど知っているのかは疑問が残る。認知度を測る項目を設けてもよいのでは。 市民のために何をするのが求められているのではないか。</p>		

3 その他

No.	ご意見内容・検討事項	考え方・取組状況
1	自治会活動を巻き込んだ推進計画とすべきかと思いません。お世話様です。	・計画について ご意見のとおり、自治会活動についても検討してまいります。
2	会議資料の事前配布はもう少し早い時期にお願いします。	・会議資料の配布について 今後は、早くに送付できるようにいたします。